

Q_o 岡義博法律事務所報 第34号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
TEL (087) 821-1300
FAX (087) 821-1833
MAIL oka-law@kln.ne.jp
HP http://www.kln.ne.jp/oka-law/

年金問題

所長 弁護士 岡 義博

宙に浮いた年金問題が発覚したのは昨年のことだっただろうか。重大事件が次々発覚するので、記憶もあやふやになっている。

5,100万件近くの年金の持ち主が不明であることが発覚した年金問題について、政府は今年の3月までに解決すると言っていた。ところが、3月末時点で持ち主をほぼ特定できたのが1,200万件弱にすぎず、特定困難は2,000万件を超えるという。このようなたくさんの方の未特定年金が残ったことについて、政府は「3月までに5,100万件全てを説明すると約束したのではない。名寄せを実施すると言ったものである」と言い逃れている。しかし、野党は公約違反だと批判し、国民も納得はしていない。3月末までに年金問題を解決するという言いぶりだったはずである。

年金問題の解決について、政府は今後全ての年金受給者（約3,300万人）と全ての現役加入者（約6,200万人）に「ねんきん特定便」を送付して、自身の年金の確認をしてもらうとしている。また、住基ネットによる調査や漢字カナ変換ミスなどのデータ補正、旧姓記録のデータ整備、紙台帳に遡っての修正などを行ない説明を進めようとしている。

しかし、これまでに送付された「ねんきん特定便」に回答した人は半数にも満たない。国民からの申請をベースにして説明を進めるのは限界がある。住基ネットほかの作業についても同様で、調査の結果結びつきの可能性のある年金が出てきたとしても、本人の申請がなければ特定人への最終的な結びつけはできない。他方で社会保険庁は、結びつきについてヒントを与えるなどという指導をしているのであるから、説明が進むはずがない。2,000万件余の未説明年金のどこまで説明が行われるであろうか。

ところで5,100万件のうち、1,900万件弱については、死亡が判明するなど新たな給付に結びつかないので対応の必要がないとされている。宙に浮いた年金の4割近くは、給付の必要がないということだが、それでは、この年金を納めた人たちは一体何のために年金を納めていたのだろうか。もっと早く年金問題が浮上し、説明が進んでいれば、中には給付を受けられた人もいたであろう。給付の必要がない年金が多数あるという面がクローズアップされれば、今後の年金制度維持に大きな影響が出てくると思われる。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

ロースクールの理念の一つとして、多様な人材を法曹界に送り出すということがある。これまで司法試験ではほとんどが法学部を卒業した人が法律実務家となっていた。ロースクール新司法試験の下では、法学部ではない他学部出身者あるいは社会人として経験を積んだ後に法曹界に入りたいと思っている人を受け入れることが予定されている。多様な人材をロースクールに受け入れ、法律家となる教育を促して法曹界に送り込むということである。

ロースクールでは、さらに、法律の知識一辺倒でない、リーガルマインド（法律家としての精神とでも言うべきもの）の涵養も理念の一つとして挙げている。社会的正義の実現や弱者の救済など法律家として求められる物の考え方を養ってゆくわけである。もちろん、正確で豊富な法律知識は要求されるが、それに加えてリーガルマインドも重要なものとして教え込まれるのである。

ロースクールの教育がこのような理念通りに実践されれば、法曹界には優れた人材が多く集まることになる。そうすると、市民の生活の安全、権利の保護という面も実現されることになる。

ロースクールのカリキュラムは3年コース（未習者）を例にとると、およそ次のようになる。

1年次は法律基本科目（憲法、民法、刑法）を講義形式で学ぶ。訴訟法（民事、刑事）についても同様に講義を受ける。行政法、商法を1年次で学ぶロースクールもある。

2年次になると1年次で学んだ基幹的な科目について、さらに深く演習（ゼミ）形式で学ぶことになる。基幹的な法律以外の諸法についても選択により学ぶことになる。また、実務的な科目も入ってくる。この辺りが普通の法学部とは異なるところである。

3年次には、実務科目はさらに増えることになり、選択科目として諸法も学ぶ。このように、実務的な基本を身につけ、必要単位数をとって卒業してゆくわけである。

しかし、ロースクールを卒業しても、直ちに法律実務家になれるわけではなく、新司法試験が待ち受けていることは前号で記した通りである。合格者枠は年々増加しているが、不合格者の滞留も増加しているので、合格率は低下してゆくことになる。ここで、合格第1主義になり、受験勉強に重点が移ると、これまでの司法試験の二の舞ということになる。そのようなことがないように祈るものである。

高松ウォッチング

事務局 E・O

先日の朝、東京で山の手線に乗った。どこか変と思ったら、女性ばかりの車両だ。フムフム、痴漢予防対策か。次の駅。太ったおばさんが車両目指して乗ってきた「あなたはこの車両でなくても...」

その次の駅。発車ぎりぎりに飛び乗った人がいた。気の毒に若い青年。一斉に女性の厳しい視線を浴びる。ひたすらドアにへばりついて固まる。次の駅であわてて別の車両へ。駅の間がさぞかし長かった事でしょう。

その日の夕方、渋谷駅で東急線へ。ものすごいラッシュ。今度は一般車両。駅員さんがぎゅうぎゅう押し込む。もう駄目と思うのにまだ人が乗ってくる。「助けてくれー」

私の旅行バックは右。手提げ鞆は左。準急で15分間、のしイカ状態。横にいた娘が一言「ちょっと。それ以上動かないでよ！旅行バック、私の足の上にあるから！」

そう言われても、下を見ることも体を動かす事も出来ない。周りの乗客は、慣れた涼しい顔で何事もないうように立っている。両手がふさがった私は焦った。これじゃ痴漢にあっても、防ぎようがない！朝の女性専用車両が恋しいー（そんなの心配ない）。

やっと目的の駅。「すいませーん」と道を開けてもらってなんとかホームに降りた。

服はよれよれ、汗だくだく。娘の白いブーツは茶色に。私しゃもうくたくた。

これが毎日の事？都会の人はすごい。

数日後、高松に帰り、コトデンに乗った。

発車ベルが鳴り終わってから走って乗り込むおばさんに、駅員さんの声。

「気をつけて、急いで下さーい。出発しますよー」

あ～、のどか。



台湾に行きタイワ～ン

事務局 H・S

2006年の残暑、B級グルメ(値段は安いが美味しい料理)ツアーに行きたい!と、いきなり台湾に行ってみた。

行きの飛行機で、隣の席の方が新幹線を作りた台湾に出張するところだと言い、台湾での注意事項等説明してくれた。「台湾でお茶を買う時は『無糖』のものを」というのが注意事項。その言葉を胸に、台北に着陸。

1日目夜、現地の物が食べたいと思い、ホテル近辺を散策。看板に鍋料理の絵と「90元」の文字を発見。当時1元3.3円だったので超安い。入ろうかどうしようか悩んでいたら、ズンズンと友達が中に突撃。「待ってー」と、焦っていたら、店員さんが「イラッシャイマセー」と日本語でお店の説明をし始めた。台湾には日本語が話せる人が多く、心配ご



無用だった。メニューは数種の鍋にご飯付きで、お茶は紅茶かプーアル茶。

まさかとは思っていたけれど、お茶が本当に基本で甘い。プーアル茶も紅茶も砂糖を飲んでいるかのように甘く、そして鍋は辛く、甘い辛いを繰り返して完食。

台北2日目はツアースケジュール。バスに乗り込んで、セルフサービスのお粥屋さんへ。セルフうどんのような形式。次は忠烈祠で兵隊さんを追いかけて、故宮博物院へ白菜とか角煮の美術品を見に行ったが思ったより小さかった。美術品よりグルメに興味があったので、サラリと流しあつという間にお昼がきた。

大行列が出来ている有名店「鼎泰豊」でショウロンポウや蒸し餃子を数種類食べた。とても美味しく、

「食べきれない!」と困っている人の分まで食べてしまった。



デザートはお店を移動し、旅行一番の目的であったマンゴーのスイーツで満足(気付いたら食物の写真しか撮っていなかった)

バスでお昼寝をし、気づいたら山の上、ジブリ映画で有名な「千と千尋の神隠し」の舞台にもなった古い街「仇分」に到着。

夕食は「欣葉」にて台湾料理。カラスミを初めて食べた。胃は休まることなく、市林夜市へ。ごちゃごちゃした夜市。そこにマトイの様な物を持った人が3人くらい走ったかと思うと、露店は一斉に店を片づけられて何も無くなった。どうやら警察の見回りの合図らしく、出店はほとんど違法らしい。

翌日は「龍豪養生館」というマッサージ屋さんへ。とても親切で、店主には日本語も通じ、旅行疲れを一気にとってくれる。

MRT(地下鉄)に乗るのも簡単で、台北101(508mの高層ビル)にも行って展望。

お土産にはパイナップルケーキ、シイタケ、マイタケチップがおすすめ。

夜道を一人で歩く事もあまり危険ではない台湾への旅行はクセになりそう!

今回は、旅行記を書かせて頂きましたが、13年お世話になった岡法律事務所を寿退職させて頂くことになりました。『ヤングマン』のコーナーを担当していましたが、いつの間にかヤングでは無くなっていました…。



ちょっとひといき

事務局 K・K

ある時、小3の息子に「お母さん、寝よってまで、顔にシワ入れんといて!」と、しかめっ面をして寝ている私の眉間のシワを引っ張りながら、言われてしまいました。

脳科学の先生曰く、脳は思い込みの激しい生き物。面白いかどうかは、脳が判断するのではなく、表情筋が動いたり、笑い声を出したりする事で初めて、面白い、楽しいと言う感情が生まれてくるとか。

なるほど、まずいなと気付いた時には、口角を上げて、笑顔を作ってみる、すると、脳が勝手に錯覚して、楽しい気分になれる。

なあんだ、考え過ぎていた、と気付けるだけでも、いいですね。

気になるなー

事務局 N・T

この春から、岡法律事務所働くことになりました。これから、法律をとおして色々な勉強をしながら努力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

好評だった Young-Man に変わり、日々の気になる出来事を題材にして書かせていただきます。

最近の話題と言えば、宇宙飛行士の土井さんが日本実験棟「きぼう」で活動された事が記憶に新しいかと思ひます。近い将来、一般人も宇宙飛行(旅行)に旅立つ日が来るのでしょうか? そんな日が来るのがちょっと待ち遠しいですね。



外部の方からの投稿です

エトセトラ

皆さんは天気予報の指数では何が一番気になりますか？こんなに親切な天気予報が見られるのは日本だけだそうですが、結構参考にしている方も多いと思います。洗濯、傘、紫外線など耳慣れた指数もあ

事務局 T・I

りますが、冬の間だけ発表される「鍋指数」。夏は「アイス指数」というものまであります。探せばもっとおもしろい指数がありそうです。